

第 23 回優秀会社史賞 入賞作品 受賞のことば

『中部電力 70 年史』

このたびは、伝統と栄誉ある第 23 回「優秀会社史賞」に選出していただき、誠にありがとうございました。社史編纂業務に関わった者一同、大変光栄に思うとともに、2 年半に及ぶ編纂の苦勞が報われ、大変喜んでおります。選考委員長の宮本先生をはじめ委員会の先生方に厚くお礼申し上げます。

当社は昨年 5 月に創立 70 周年を迎え、その 10 月に「中部電力 70 年史」を発刊いたしました。その目的は、10 年間の社業の移り変わりについて、私たちは何と向き合い、何を議論し、何を行動に移したのかを資料として整理し保存することにあります。

特に重点的に取り組んだのは、電力システム改革の背景と経緯、それに対する当社の具体的取り組み等を詳細かつ客観的に記述することです。60 年史から 70 年史につなぐプロローグとして特集した「東日本大震災への対応を振り返る」については、震災当時の役員 6 名に当時の心境や取り組み、後進へのメッセージ等を語っていただきました。また、読者の皆さまに現場の臨場感をお伝えするため、経営層や社員へのインタビュー記事を 27 エピソード掲載しました。

当社の 70 年は伊勢湾台風や 2 度の石油危機、バブル崩壊、さらには最近の燃料価格高騰等時として大変厳しい状況に立ち向かいながら、挑戦し、対応し続け、乗り越えてきた歴史と言えます。創立以来脈々と流れ続けるこの中部電力スピリットを後世に語り継いでいかなければなりません。本書には諸先輩や私たちの熱い思いが込められており、必ずやその役割を果たしてくれるものと期待しております。

今後とも関係各位の変わらぬご理解ご支援を賜りますことを祈念し、受賞の言葉とさせていただきます。

社史編纂ワーキング・グループ事務局長 永井 俊